

令和 3 年 12 月 3 日

令和 3 年社内研修に関するアンケート調査報告書

ニコニコタウンきいれグループ

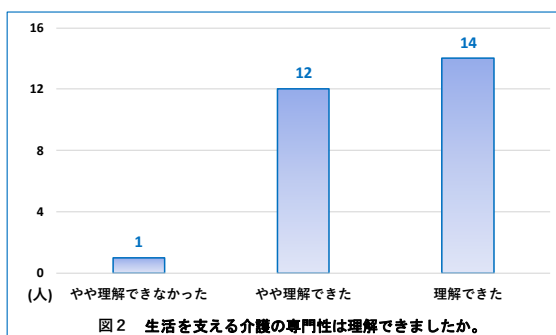
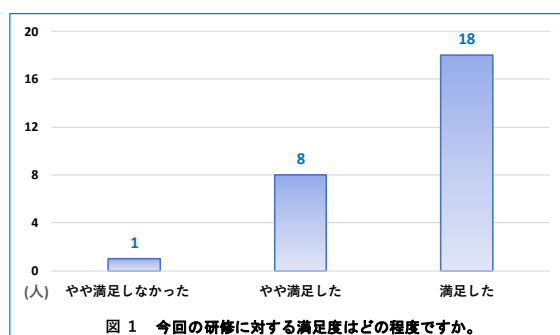
令和 3 年入社したスタッフの社内研修について、研修後のアンケート調査結果を報告します。

それぞれの項目の度数分布を棒グラフで示しました。それぞれの項目との関連性をみるために、クロス表を作成しカイ二乗検定を実施しました。そのうえで、どのセルが有意な関連に寄与しているのかを確認をするために、調整済み残差を算出しました。さらに、変数間の効果量を Cramer' V で調べました。データの集計と分析は SPSS ver. 28 を用い、有意確率 5% 未満 ($p < .05$ 水準で、 $|dij| \pm 1.96$ 以上) を統計的に有意としました。

今回の研修に対する満足度について、最も多かったのは「満足した」18 人(66.7%)であり、次に多いのは「やや満足した」8 人(29.6%)でした。一方、「やや満足しなかった」のは 1 人(3.7%)で、「満足しなかった」と答えた人はいませんでした。研修に対する満足度は、全体の 96.3%(26 人)が「満足した」あるいは「やや満足した」と答えていました。

研修内容の理解度について、最も多かったのは「理解できた」14 人(51.9%)であり、次に多いのは「やや理解できた」12 人(44.4%)でした。一方、「やや理解できなかった」のは 1 人(3.7%)で、「理解できなかった」と答えた人はいませんでした。

研修に対する満足度は、全体の 96.3%(26 人)が満足(「満足した」あるいは「やや満足した」と答えており、理解度は、全体の 96.3%(26 人)が理解できた(「理解できた」あるいは「やや理解できた」と答えていました。

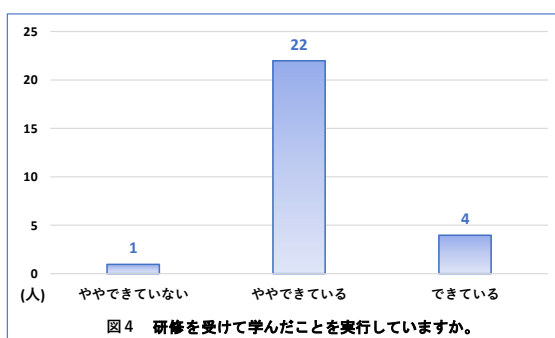
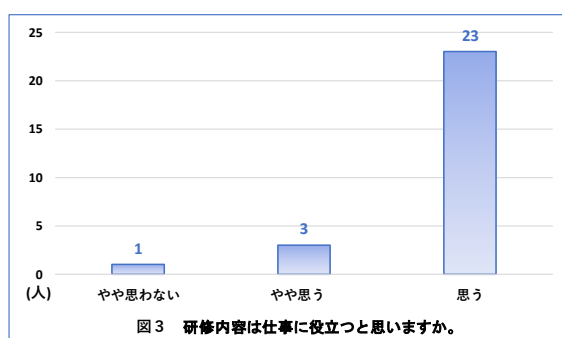


研修が役立つかについて、最も多かったのは「思う」23 人(85.2%)であり、次に多いのは「やや思う」3 人(11.1%)でした。一方、「やや思わない」のは 1 人(3.7%)で、「思わない」と答えた人はいませんでした。研修が役立つかについては、全体の 96.3%(26 人)が「思う」

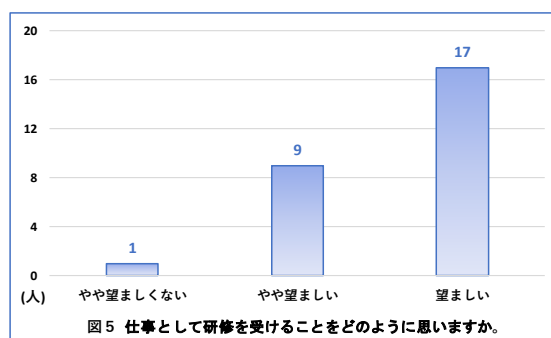
「やや思う」と答えていました。

研修で学んだことの実行性について、最も多かったのは「できている」4人(14.8%)であり、次に多いのは「ややできている」22人(81.5%)でした。一方、「ややできていない」と答えたのは1人(3.7%)で、「できていない」と答えた人はいませんでした。

研修の有効性について、全体の96.3%(26人)が役立つ(「思う」あるいは「やや思う」)と答えており、研修で学んだことの実行性は、全体の96.3%(26人)が実行している(「できている」あるいは「ややできている」)と答えていました。



仕事として研修を受けることについて、最も多かったのは「望ましい」17人(63.0%)であり、次に多いのは「やや望ましい」9人(33.3%)でした。一方、「やや望ましくない」のは1人(3.7%)で、「望ましくない」と答えた人はいませんでした。仕事として研修を受けることを、全体の96.3%(26人)が望ましい(「望ましい」あるいは「やや望ましい」)と答えていました。研修の要望度は63.0%(17人)が「望ましい」と答えていました。



今回の研修について、仕事としての研修を「望ましい」と答えた人は、研修内容が仕事に役立つかについて、全ての人が「思う」と答えており有意($p < .01$)に多いことが示されました。研修を受けることを「やや望ましい」と答えた人は、仕事に役立つと思うかについて、「やや思う」と答えた人が有意($p < .01$)に多いことが示され、「思わない」あるいは「やや思わない」と答えている人はいませんでした。一方、仕事として研修を受けることを「やや望ましくない」と答えたひとは、研修内容が仕事に役立つと思うかについて、「やや思わ

ない」と答えており、有意($p < .01$)な関連が示されました。

研修を受けることを「望ましい」あるいは「やや望ましい」と答えた 26 人(全体の 96.3%)は、全ての人が仕事を有用だと「思う」あるいは「やや思う」と答えていました。影響の程度は大きな効果($V = 0.789$)が認められました。

研修について、全体の 96.3%の人が仕事に「望ましい」あるいは「やや望ましい」と思っていました。仕事としての研修は、要望の強さが研修の有用性に影響を及ぼすことが示唆されました。

表 1 仕事としての研修と仕事への有用性に関するクロス表

($N = 27$)

		研修内容は仕事に役立つと思いますか				
			やや思わない	やや思う	思う	合計
仕事としての研修を受けることを どのように思いますか	望ましい	<i>N</i>	0	0	17	17
		%	0%	0%	100%	100%
		<i>dij</i>	-1.3	-2.4*	2.8**	
	やや望ましい	<i>N</i>	0	3	6	9
		%	0%	33.3%	66.7%	100%
		<i>dij</i>	-0.7	2.6**	-1.9	
	やや望ましくない	<i>N</i>	1	0	0	1
		%	100%	0%	0%	100%
		<i>dij</i>	5.2**	-0.4	-2.4*	
合計	<i>N</i>	1	3	23	27	
	%	3.7%	11.1%	85.2%	100%	

注) 未測定項目がありデータ数は異なる。 ** $p < .01$, * $p < .05$

($\chi^2(4)33.652$, $p < .001$, $V = .789$)

今回の研修について、満足度を「満足した」と答えた人は、研修内容が仕事に役立つと思うかについて、全ての人が「思う」と思っており有意($p < .01$)な関連が示されました。研修に対する満足度を「やや満足した」と答えた人は、研修内容が仕事に役立つと思うかについて、「思う」と答えている人が有意($p < .05$)に少なく、「やや思う」と答えている人が有意($p < .01$)に多いことが示され、「思わない」あるいは「やや思わない」と答えた人はいませんでした。一方、研修に対する満足度を「やや満足しなかった」と答えた人はひとりで、研修内容が仕事に役立つと思うかについて、「やや思わない」と答えており、有意($p < .01$)な関連が示されました。影響の程度は大きな効果($V = 0.804$)が認められました。

研修に対する満足度を「満足した」と答えた人は、仕事としての研修を受けることに、「望ましい」と答えた人が有意($p < .01$)に多く、「やや望ましい」と答えた人が有意($p < .01$)に少ないことが示され、研修に対する満足度を「望ましくない」あるいは「やや望ましくない」と答えた人はいませんでした。研修に対する満足度を「やや満足した」と答えた人は、「望ましい」と思っている人が有意($p < .01$)に少なく、「やや望ましい」と答えた人が有意($p < .01$)に多いことが示され、研修に対する満足度を「望ましくない」あるいは「やや望ましくない」と答えた人はいませんでした。一方、満足度を「やや満足しなかった」と答えた人はひとりで、仕事としての研修を受けることを「やや望ましくない」と答えており、有意

($p < .01$)な関連が示されました。影響の程度は大きな効果($V = 0.812$)が認められました。

今回の研修に満足した 18 人(全体の 66.7%)は、全ての人が仕事に有用であると答えており、仕事として研修を受けることを「望ましい」あるいは「やや望ましい」と答えていました。さらに、今回の研修に「やや満足した」と答えた 8 人(全体の 29.6%)は、仕事にやや有用であり仕事として研修を受けることを「やや望ましい」と答えている人が有意に多いことが示されました。一方、今回の研修に「やや満足しなかった」と答えた 1 人(全体の 3.7%)は、仕事にやや有用でないと答えており、仕事として研修を受けることを「やや望ましくない」と答えていました。

研修について、全体の 96.3%の人が「満足した」あるいは「やや満足した」と思っていました。仕事としての研修の要望の強さと仕事への有用性の認識度が研修の満足度に影響を及ぼすことが示唆されました。

表2 研修の満足度と仕事への有用性および仕事としての研修に関するクロス表

($N = 27$)

		研修内容は仕事に役立つと思いますか					仕事として研修を受けることをどのように思いますか			
		やや		やや思う	思う	合 計	やや		望ましい	合 計
		思わない					望ましくない	望ましい		
今 回 の 研 修 に 対 す る 満 足 度 は ど の 程 度 で す か	満足した	<i>N</i>	0	0	18	18	0	3	15	18
		%	0%	0%	100%	100%	0%	16.7%	83.3%	100%
		<i>dij</i>	-1.4	-2.6**	3.1**		-1.4	-2.6**	3.1**	
	やや満足した	<i>N</i>	0	3	5	8	0	6	2	8
		%	0%	37.5%	62.5%	100%	0%	75.0%	25.0%	100%
		<i>dij</i>	-0.7	2.8**	-2.2*		-0.7	3.0**	-2.7**	
	やや満足しなかった	<i>N</i>	1	0	0	1	1	0	0	1
		%	100%	0%	0%	100%	100%	0%	0%	100%
		<i>dij</i>	5.2**	-0.4	-2.4*		5.2**	-0.7	-1.3	
	合 計	<i>N</i>	1	3	23	27	1	9	17	27
		%	3.7%	11.1%	85.2%	100%	3.7%	33.3%	63.0%	100%
(χ ² (4)34.924, <i>p</i> < .001, <i>V</i> = 0.804)						(χ ² (4)35.647, <i>p</i> < .001, <i>V</i> = 0.812)				

注) 未測定項目がありデータ数は異なる。 ** $p < .01$, * $p < .05$

研修について、仕事としての研修に要望が強いことが、研修の有用性に関する認識に影響を及ぼすことが示され、仕事への有用性を高く認識し要望していることが研修の満足度に関連することが示唆されました。影響の程度は大きな効果が認められたことから、今後は、スタッフの要望を踏まえた、有用性が意識できる取り組みが求められました。

研修に参加して、得たこと、学んだことに関するコメントをそのまま記載しました。

- ・医療的な知識、認知症ケアの考え方。
- ・利用者、患者、職員との関係づくり(コミュニケーション)。
- ・利用者様とのかかわりについて見直せるいい機会になった。
- ・利用者の生活歴や大切にしているものや考えを知ることが大事だとわかった。
- ・身体拘束、スピーチロックについては、普段のコミュニケーションを振り返り、適切な

葉づかいを考えるなど、改めて自身の関りを見つめ直すことができました。

- ・介護をする上でどういった関りをするべきか基本的な介護の方法を学べた。
- ・認知症患者様の気持ちや、命に対してどう向き合っていけばいいか、考えさせていただく研修でした。専門的な知識を学ぶこともできて、現場で生かしていきたいです。
- ・ご利用者の方への関わり方、話し方、看取りケア等について、今まで知っていた知識に $+\alpha$ を加えることができた。現場での課題を知らながら、分かりやすく学べ、現場で生かすことが出来た。
- ・仕事の大切さ時間の使い方。
- ・共感、プライドを守る(相手の)傾聴。
- ・自分の介護技術や気持ちの面の未熟さが分かる研修でした。頑張っていきたいと思えた。
- ・意思を聴くことができるために、共感・推定・洞察・肯定する。
- ・ご利用者の気持ちにもっと寄り添おうと思いました。
- ・全部すごく考えさせられた。
- ・利用者を尊重すること看取りケアで大切なこと。
- ・言葉に出てこない思いを想像しながらコミュニケーションをとること。
- ・症状によりある程度病気を把握する。
- ・認知症や病気などを詳しく知ることができた。
- ・認知症について様々なことを知ることができた。
- ・ご利用者との関わり方など、関りで大切なこと。
- ・自分だけの意見だけではなく、他の意見、ご利用者様の尊厳を大事にする。
- ・利用者様へお声掛けする時の意識や寄り添い方など、コミュニケーションについて学べました。
- ・相手の立場になって物事を考える、行動、支援をすることを学んだ。
- ・認知症の方への対応や、考え方、認知症の方だけではなく、利用者様への考え方を変えることが出来ました。

研修に対する感想及び意見をそのまま記載しました。

- ・このような研修、もっと参加したいと思う。
- ・分かりやすい内容で、グループで話しをしながらすると、とても良いと思った。
- ・とても分かりやすく、ご利用者と真剣に向き合える機会になりました。
- ・知らないことを知り、自分の知識になったので、仕事で生かしていけるように頑張りたいです。
- ・一つひとつの古城先生の言葉が刺さりました。